

# 事業実施報告

事業名	テンパーク・ファミリークラブ～「モチモチ！冬あそび」編～		
開催日	令和6年1月13日（土）		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	午前の部 19家族59名 午後の部 17家族47名
対象	幼児（年長以上）・小学生とその家族		
関係機関名	花巻カップ協会 夢みる老舗の館（いちのせき出前餅つき隊）		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

参加者が楽しみながら地域の良さを体感する企画として、県産木材を使用した「雪上カップ体験」、岩手のもち食文化を体感する「もちつき体験」、冬のスノーアクティビティとして「かまくらづくり」を実施したほか、「そりすべり」と「モービルスノーチューブ体験」も加えた。応募多数であったため、スケジュールを変更し、午前と午後の2展開としたことで、多くの方々に体験の場を提供できた。上記の活動をとおして地域の良さを体感できる冬ならではのプログラムを提供できた。

### 〔成果〕

#### ① 参加者が楽しみながら地域の良さを体感できるプログラムを提供できたこと

岩手県産のブナで制作されたカップを使い、「雪上カップ体験」を実施した。カップ指導者として花巻カップ協会を招き、参加者と一緒にプレーしながら審判、技術指導に加え、上手く参加者を励ましていただいたことで、内容の充実を図ることができた。初めての方でも十分に楽しめる内容であった。

冬季ならではの雪を使った活動として、「かまくらづくり」のほか、「モービルスノーチューブ体験」と「そりすべり」を実施した。参加者からは「もう一度同じ企画をしてほしい」旨の声が多く、好評であった。

岩手県南地方を中心に伝わるもち食文化を体感できる「もちつき体験」を行った。「岩手食の匠」の佐々木善子氏を代表とする出前餅つき隊が大黒舞を披露しながら、参加者の餅つき体験をサポートしていただいた。

参加者が楽しみながら、地域の良さを体感できるプログラムを提供することができた。

#### ② 状況の変化に応じた準備と代替プログラムの提供ができたこと

暖冬により積雪不足が予想されたため、「かまくらづくり」に使用する雪を事前に集積し、プログラムを実施できるように準備を行った。しかし、その雪が融解凍結を繰り返して固くなり、「かまくらづくり」の実施は難しいと判断した。こうした状況変化に対応し、代替のプログラムを追加し、安全対策を入念に行ったうえで事業実施することができた。

#### ③ 各メディアで事業案内と実施状況を発信していただいたこと

子育て情報誌『fam』ウェブ版のイベント情報にて、本事業を紹介していただいたことで、チラシ配布地域以外からも参加応募があった。「岩手食の匠」の取組を紹介するかたちで、テレビ岩手公式Youtubeチャンネルにて本事業のもちつき体験の様子を取り上げていただいた。そのほかに、日本カップ協会の公式Facebookにて雪上カップ体験の様子を紹介していただいた。

### 〔課題〕

#### ① 雪を使ったプログラムの見直し

雪を使ったプログラムについては、周辺施設でも実施に苦慮している状況がある。ここ数年の気象変化が大きいことから、雪のプログラムの見直しが必要である。同時にプログラムの実施基準等も整備していきたい。

#### ② 参加者の動線に対する配慮

今回、代替プログラムを追加したことで、グラウンドだけでなく、そりすべり場まで参加者の動線が広がった。参加者の動線に配慮した除雪、誘導等が必要となる。レストランでの配膳方法等について協力者と打合せ、効率的な動線を計画する。

## 状況写真



日本初?!の雪上カップ体験

そりすべり

家族みんなでつくったかまくら & ゆきだるま



モービルスノーチューブ体験



もちつき体験



みんなでモチモチ食べました！